

## 芦別市に3度目となる寄付をいただきました



10月28日、明治安田生命保険相互会社から新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする健康づくり事業に活用してもらいたいと、71万円の寄付がありました。

本寄付は同社が社会貢献活動として行っている「地域の元気プロジェクト」の一環で、同グループの全従業員がゆかりのある地域の団体など

に募金し、会社からの寄付を上乗せして支援しているものです。

昨年8月に40万8,700円と今年2月に20万円を市に寄付しています。

今回、森元旭川支社長より募金目録が手渡され、荻原市長からは市民の健康増進のために使わせてもらいますと述べ、感謝状が贈られました。

## あしべつフォトコンテストの表彰式が行われました

今回で4回目となる、「星の降る里あしべつフォトコンテスト2021」の表彰式が11月2日、商工会議所で行われました。

芦別の四季の魅力を伝えるコンテストには、市内外から一般部門に54作品、インスタ部門に76作品の応募があり、延べ24人の作品が入賞入選

に選ばれました。

同審査には関係者9人が行い、表彰式では商工会議所の坂田会頭より表彰状と副賞が贈られました。

同作品は、2022年度の芦別市観光カレンダーに採用され、壁掛けカレンダーと卓上カレンダーとして販売されます。



## 芦別慈恵園、第11回まちづくり講演会で映画上映



11月3日、市民会館大ホールで第11回まちづくり講演会が開催され、事前にワクチン接種証明を行った市民ら192人が来場しました。

これは、社会福祉法人芦別慈恵園が地域貢献事業として、地域住民と芦別の将来について共に考えることを目的に毎年開催しています。

当日は、同法人が2005年から取り組む、終末期の看取りケアをケアマネージャーの滝口千秋さんが紹介したほか、その取り組みをまとめて出版した小冊子「エンド・オブ・ライフ」（同法人にて無料配布中）を無料で配布。また、在宅医療を題材にした映画の上映も行われました。

## 市長と町内会連合会との市政懇談会が開催されました

令和3年度市長と芦別市町内会連合会との市政懇談会が11月9日、総合福祉センターで行われました。

町内会連合会から来年度の市政に対して、冬期間交差点に高く積まれる雪山の対応が要望されたほか、頼城仲町連合町内会からは町内の公園や空き地の樹木の伐採について、啓

南橋町内会からはクマ対応について要望がされました。

市からは、全道的に出没が増加し、市内の目撃情報が令和2年度の43件から81件(10月22日現在)に増えているクマ対策では、「抜本的な対応を北海道にも要請しているところでです。」と回答が述べられました。

